

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

型式：YY2101C

本機は、つなぐ機器によって接続手順が異なります。

必ず、以下からつなぎたい機器の青色のリンク文字を選び、表示された説明ページの案内に従って本機をつないでください。

“Sony | BRAVIA Connect”アプリ対応のサウンドバーなどのホームオーディオ機器につなぐ[“Sony | BRAVIA Connect”アプリ対応のホームオーディオ機器につなぐ](#)**下記のいずれかのホームオーディオ機器につなぐ**[HT-A7000/HT-A5000/HT-A3000のいずれかのサウンドバーにつなぐ](#)[STR-AN1000/STR-AZ7000ES/STR-AZ5000ES/STR-AZ3000ES/STR-AZ1000ES/TA-AN1000のいずれかのAVレシーバー/アンプにつなぐ](#)**本機に対応している機器について**

本機は特定の機種とのみ動作するリアスピーカーです。

本機に対応している機種の型名は下記のURLで確認することができます。

対応するホームオーディオ機器（サウンドバー/ホームシアターシステム/AVレシーバー/AVアンプ）<https://www.sony.net/comp-home/>

[本機とつながる機器](#)

[同梱品を確認する](#)

各部の名称とはたらき

[本体](#)

[ランプの表示一覧](#)

設置する

[床や棚に設置する](#)

[直接壁に取り付ける](#)

[付属の壁掛け用ブラケットを使って壁に取り付ける](#)

接続する

[“Sony | BRAVIA Connect”アプリ対応のサウンドバーなどのホームオーディオ機器につなぐ](#)

[HT-A7000/HT-A5000/HT-A3000のいずれかのサウンドバーにつなぐ](#)

[STR-AN1000/STR-AZ7000ES/STR-AZ5000ES/STR-AZ3000ES/STR-AZ1000ES/TA-AN1000のいずれかのAVレシーバー/アンプにつなぐ](#)

困ったときは

[困ったときにすること](#)

[サポートページで調べる](#)

[初期化する](#)

[主な仕様](#)

その他

[商標について](#)

[ライセンスについて](#)

[ご注意](#)

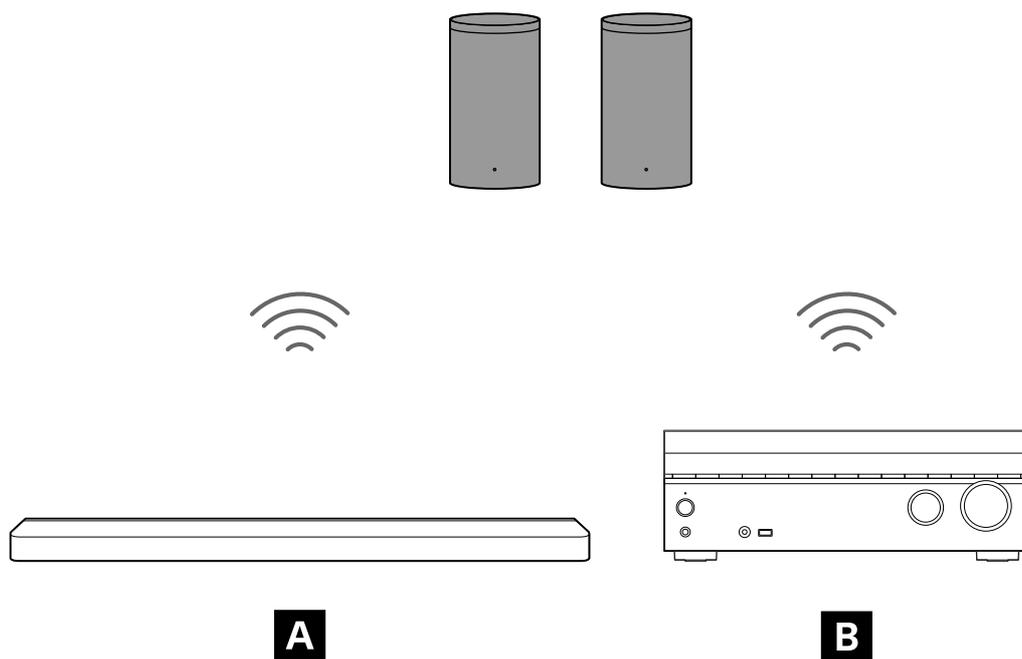
リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

本機とつながる機器

本機は特定の機種とのみ動作する製品です。
本機に対応している機種の型名は下記のURLで確認することができます。

対応するホームオーディオ機器

<https://www.sony.net/comp-home/>



- A** サウンドバー
- B** マルチチャンネルAVレシーバー／マルチチャンネルAVアンプ

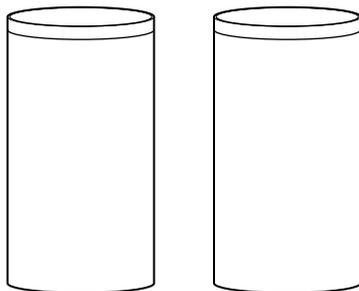
TP1002215078

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

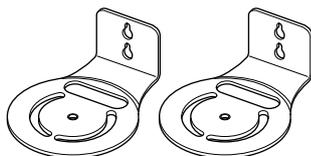
同梱品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。数字は個数です。
お買い上げの国/地域によって、同梱品の有無や数量が異なります。
製品に付属の使用上のご注意/仕様・保証書をご覧になり、同梱品の有無と数量をご確認ください。

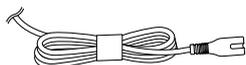
- リアスピーカー（REAR L）（1）、リアスピーカー（REAR R）（1）



- 壁掛け用ブラケット（2）



- 電源コード（2または4）



- ネジ（4）



- 印刷物（一式）

一部の国/地域のみ付属している部品

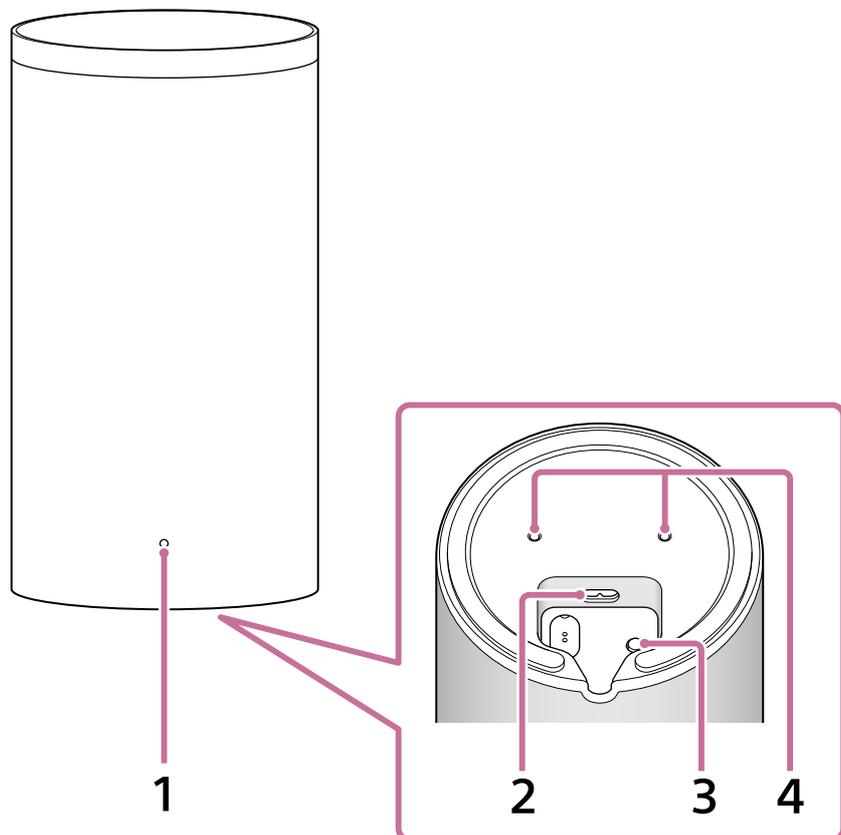
- ACプラグアダプター（2）

TP1002076241

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

本体

正面、底面



1. 電源ランプ

本機の状態を3色（白色／青色／赤色）の点灯、点滅で表します。

2. AC入力端子

3. LINK（リンク）

- **押す**：本機を接続する場合に押します。接続手順に従って操作してください。
- **通知音が流れるまで、2秒間押したままにする**：本機の電源が切れます。
- **2回目の通知音が流れるまで、10秒間押したままにする**：本機を初期化します。

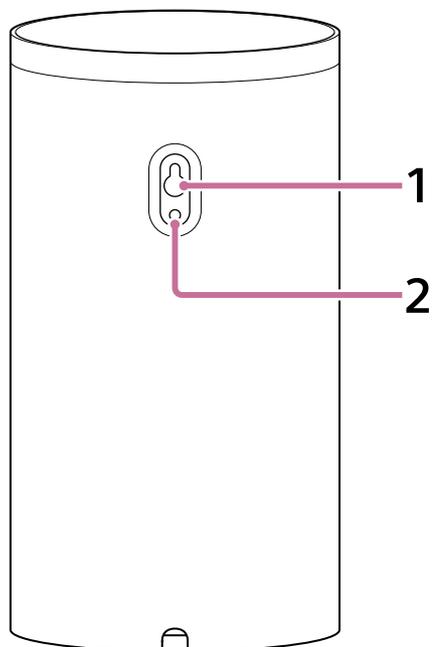
4. 壁掛け用ブラケット取り付け穴

ヒント

- 左リアスピーカー（REAR L）の底面のへこんだ部分に約1 mm（1/16 インチ）の大きさの凸点（突起）が2つ並んで付いています。リアスピーカー左右判別の目印としてお使いください。

背面

下記のイラストは本機背面のカバーを外した状態です。



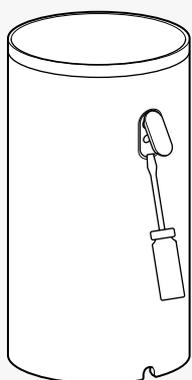
1. 壁掛け用穴

2. スピーカースタンド用取り付け穴

M5サイズのネジに対応しています。

ご注意

- 壁掛け用穴またはスピーカースタンド用取り付け穴を使う場合は、マイナスドライバーなどを差し込んでカバーを外してください。



関連項目

- [ランプの表示一覧](#)
- [初期化する](#)

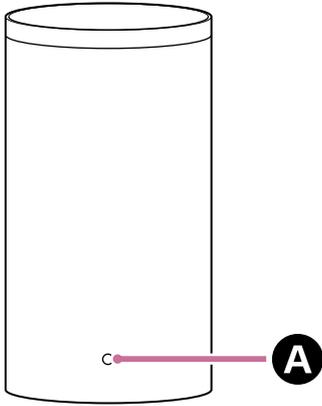
TP1002071848

リアスピーカー

BRAVIA Theatre Rear 9

ランプの表示一覧

製品の状態を表すランプが本体の正面下部にあります。



A 電源ランプ

電源状態

-  (白色でゆっくり点滅)
起動中です。
-  (赤色で点灯)
スタンバイ状態です。
- (消灯)
電源が入っていません。

対応機器との接続状態

-  (白色で点灯)
対応機器と接続中です。
-  (白色でゆっくり点滅)
対応機器との接続待機中です。
-  (白色で2回ずつ点滅)
対応機器との手動接続待機中です。

特殊状態

-  (白色/青色で交互に点滅)
ソフトウェア書き換え/初期化などの処理中です。
-  (白色で点滅)
無線機能がオフの状態です。LINK (リンク) を操作すると無線機能がオンになります。
-  (赤色で点滅)
異常やエラーが検出されています。「困ったときにすること」の流れに従って対処してください。

関連項目

- [困ったときにすること](#)
- [初期化する](#)

TP1002076163

5-071-535-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

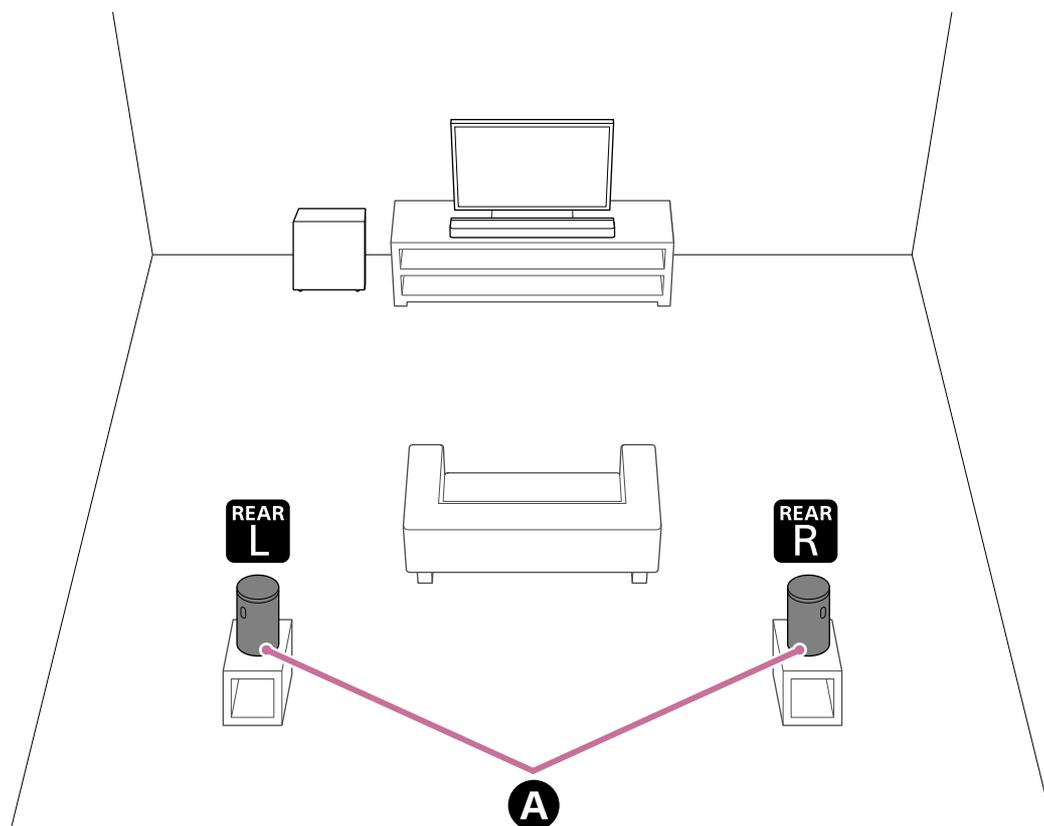
床や棚に設置する

本機を設置する例を説明します。

設置のしかた

下記の設置図は一例です。

サウンドバーと組み合わせて設置する例



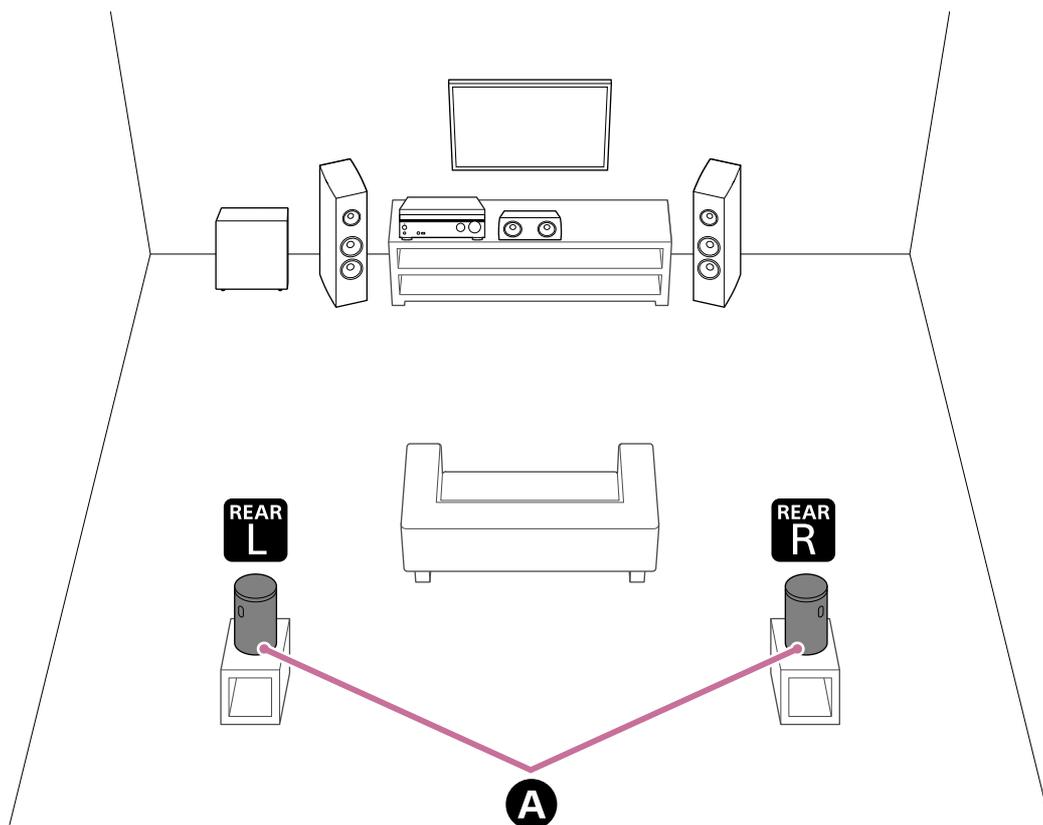
A 本機

マルチチャンネルAVレシーバー／マルチチャンネルAVアンプと組み合わせて設置する例

5.1チャンネルのスピーカーシステムの場合の設置例です。

5.1チャンネルのスピーカーシステムで使用する場合は、本機に加えて、フロントスピーカー、センタースピーカーおよびサブウーファーが必要です。

スピーカーシステム構成に応じたスピーカーの配置については、マルチチャンネルAVレシーバー／マルチチャンネルAVアンプのヘルプガイドをご覧ください。



A 本機

本機を設置する

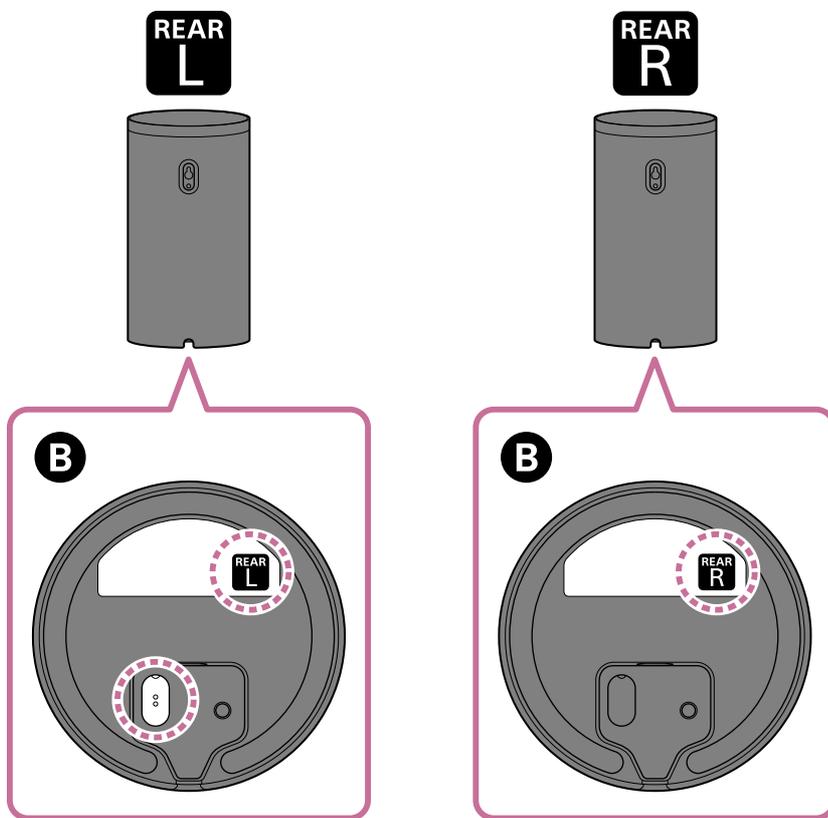
対応機種に2台のリアスピーカーを1組として組み合わせて設置してください。

- 本機を視聴位置（音を聞く位置）に向けて後方に置いてください。
- 本機の高さを耳の高さと合わせて置くことをおすすめします。

1. 本機の底面のラベルを見て、左リアスピーカーと右リアスピーカーを確認する。

左リアスピーカーに「REAR L」のラベル、右リアスピーカーに「REAR R」のラベルが貼ってあります。

左リアスピーカー（REAR L）の底面のへこんだ部分に約1 mm（1/16 インチ）の大きさの凸点（突起）が2つ並んで付いています。リアスピーカー左右判別の目印としてお使いください。



B 本機底面

2. 正面に向かって左後方に左リアスピーカー、右後方に右リアスピーカーを設置する。

ご注意

- 本機の天面からも音が出力されます。天面をふさいだり、棚の中や天井の直下に設置したりしないでください。

TP1002215079

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

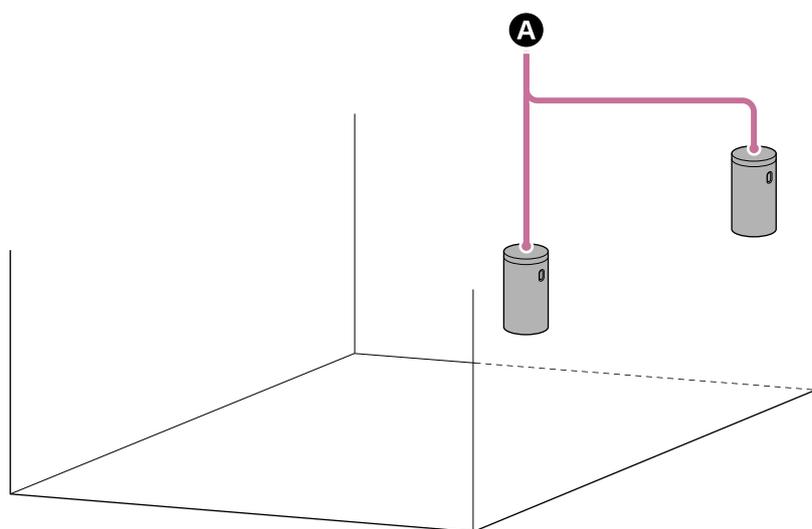
直接壁に取り付ける

市販のネジを使って、直接壁に取り付けることができます。本機を視聴位置に向けた場合は付属の壁掛け用ブラケットを使って壁に取り付けることもできます。

[付属の壁掛け用ブラケットを使って壁に取り付ける](#)

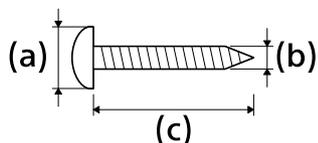
ご注意

- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。
- ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- 本機は補強された壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。



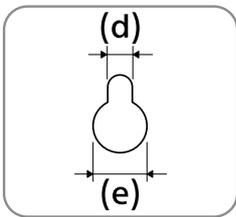
A 本機

- 1 本機背面の壁掛け用穴に合う市販のネジを用意する。



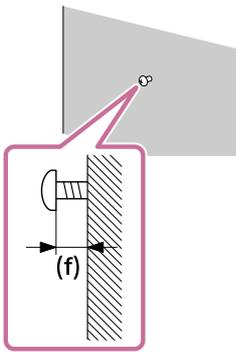
- (a) 6 mmから9.5 mm (1/4 インチから3/8 インチ)
 (b) 4 mm (3/16 インチ)
 (c) 30 mm (1 3/16 インチ) 以上 (目安)

本機背面の壁掛け用穴



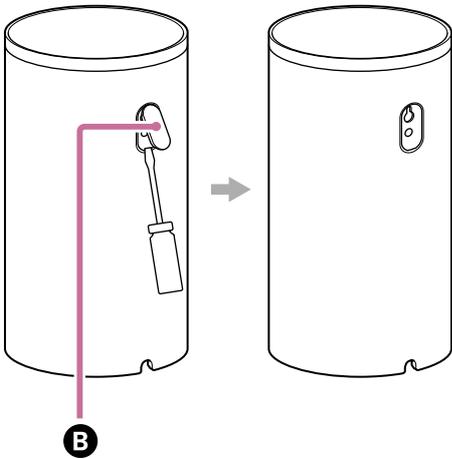
(d) 約4.5 mm (3/16 インチ)
(e) 約10 mm (13/32 インチ)

2 壁にネジをとめる。



(f) 約12 mm (1/2 インチ)

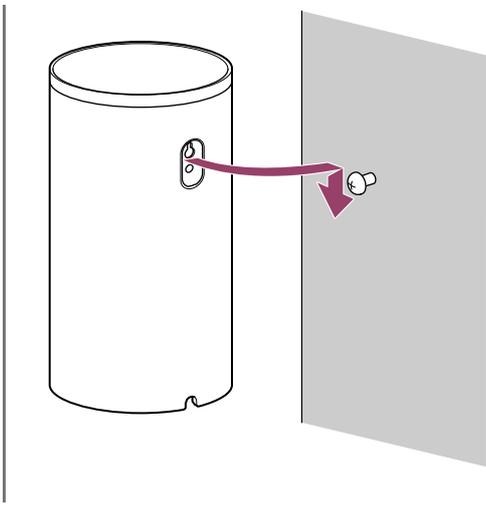
3 本機背面のカバーを、カバー下部の切り欠き部にマイナスドライバーなどを差し込んで外す。



B カバー

4 本機底面のラベルを確認して左右の判別をし、本機背面の壁掛け用穴をネジにかける。

-  : 左
-  : 右



ご注意

- 手順3で外したカバーは、本機を壁から外したときに使えるように保存しておいてください。

TP1002071854

5-071-535-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

リアスピーカー

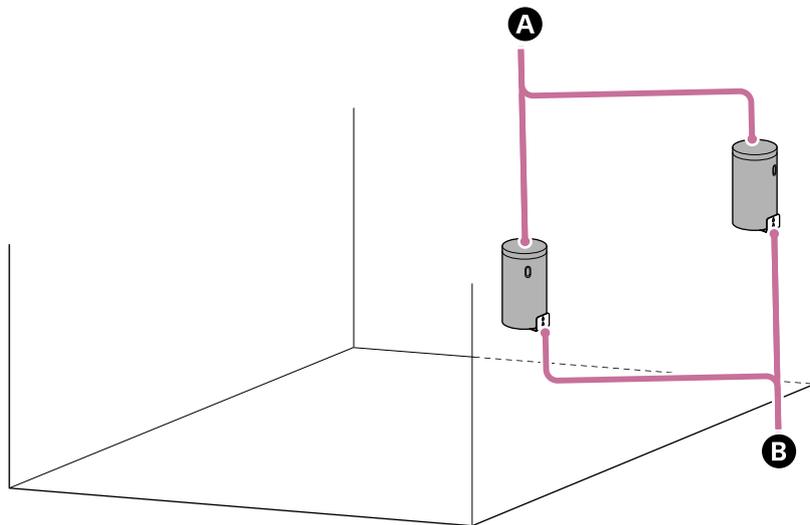
BRAVIA Theatre Rear 9

付属の壁掛け用ブラケットを使って壁に取り付ける

付属の壁掛け用ブラケットを使用すると、視聴位置に向けて本機を壁に取り付けることができます。

ご注意

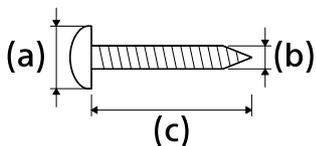
- 壁掛け用ブラケットで本機の向きを調整すると、本機の向きによってはLINK（リンク）を押せなくなる場合があります。本機をつなげる時にLINK（リンク）を押す場合がありますので、本ページの手順に従って壁に取り付けてください。
- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。
- ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- 販売店や工事に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。



A 本機

B 壁掛け用ブラケット

1 壁掛け用ブラケットの穴に合う市販のネジを用意する。

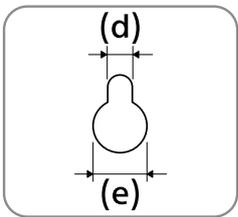


(a) 6 mmから9.5 mm (1/4 インチから3/8 インチ)

(b) 4 mm (3/16 インチ)

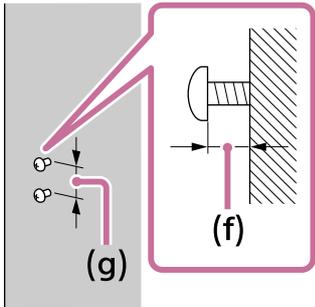
(c) 30 mm (1 3/16 インチ) 以上 (目安)

壁掛け用ブラケットの穴



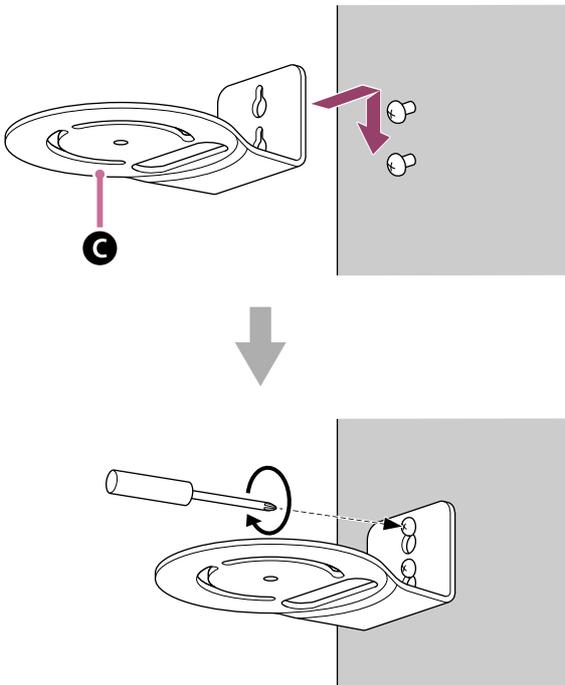
(d) 約4.5 mm (3/16 インチ)
(e) 約10 mm (13/32 インチ)

2 壁にネジをとめる。



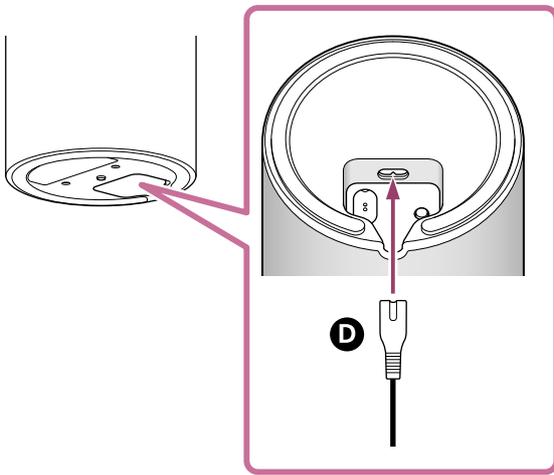
(f) 約3 mm (1/8 インチ)
(g) 約21 mm (27/32 インチ)

3 壁掛け用ブラケットをネジにかけ、ネジを締め込んで壁掛け用ブラケットを壁に固定する。



Ⓒ 壁掛け用ブラケット

4 本機のAC入力端子に電源コードをつなぐ。

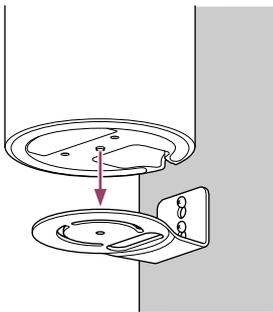


D 電源コード

5 壁掛け用ブラケットに本機を載せる。

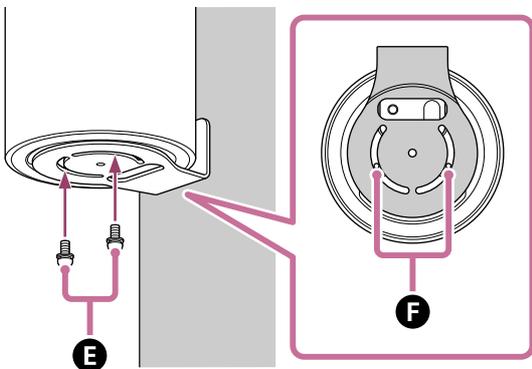
壁掛け用ブラケットの底面中央の穴に、本機の底面中央の凸部を合わせてください。
本機を壁掛け用ブラケットに載せる前に、本機底面のラベルで左右の判別をしてください。

- **REAR L** : 左
- **REAR R** : 右



6 壁掛け用ブラケットの溝を通して、本機底面の穴にネジを取り付け仮止めする。

付属のネジを使用してください。
本機の向きを確定するまで、ネジは仮止めにしてください。

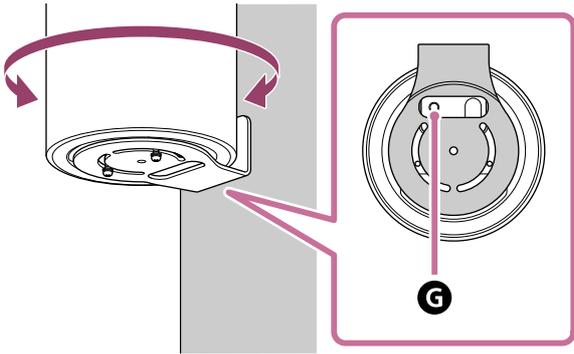


- **E** ネジ（付属）
- **F** 本機底面の穴

7 視聴位置に向けて、本機の向きを調整する。

ご注意

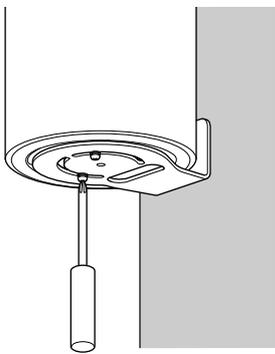
- 本機をつなぎたい機器と接続するときに、本機底面のLINK（リンク）を押す場合があります。本機を視聴位置に向けるとLINK（リンク）が押せなくなる場合は、次の手順に進む前に機器との接続を完了してください。



G LINK（リンク）

8 本機の向きを確定した後、壁掛け用ブラケットに本機を固定する。

プラスドライバーなどを使用して、ネジをしっかり締めてください。



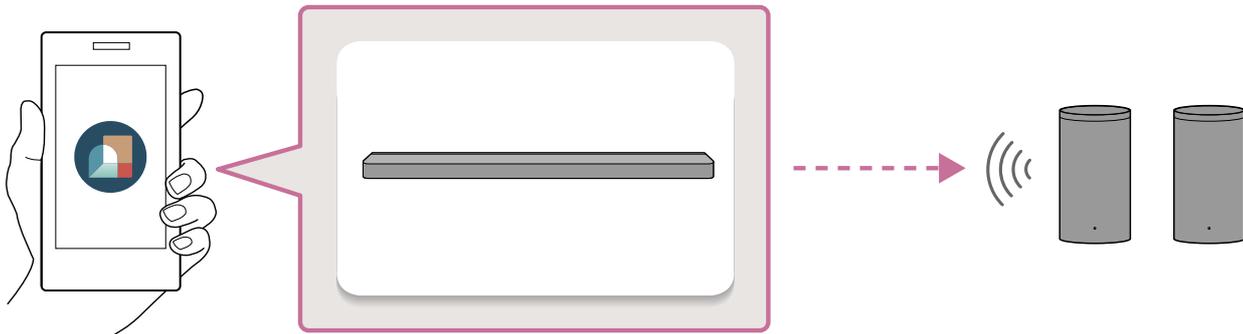
TP1002099828

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

“Sony | BRAVIA Connect”アプリ対応のサウンドバーなどのホームオーディオ機器につなぐ

必ずこのページの手順1のリンクから“Sony | BRAVIA Connect”アプリを起動またはインストールしてください。アプリで本機の設置や接続に適した案内が開始されます。

アプリをインストール済みの場合は、下記の手順に進む前に最新バージョンへの更新が必要です。
[最新バージョンにアプリを更新できるサイトに移動する](#)



1 下記の青色のリンク文字をタップし、本機のセットアップをアプリで開始する。

ご注意

- アプリインストールもしくは起動にあたり当社委託先へIPアドレス及び識別子情報が送信されます。

BRAVIA Theatre Rear 9（本機）をつなぐ

[BRAVIA Theatre Rear 9のセットアップをアプリで開始する](#)

ヒント

- 本機以外の別売のソニー製ワイヤレススピーカーを一緒につなぐ場合も同じ手順で行ってください。アプリ画面の案内に従って進めると、各スピーカーの接続案内が表示されます。
- 上記のリンクをタップしたり下記のQRコードを読み込んでも、アプリを起動またはインストールができない場合があります。その場合は、表示されたWebページでお使いのスマートフォンに対応したリンクをタップすると、アプリを起動またはインストールできます。その後、手順2へ進んでください。

このヘルプガイドをパソコンでご覧の場合は、下記のQRコードをスマートフォンで読み込んでください。



2 本機のセットアップをアプリ画面の案内に従って進める。

最初に本機をつなぎたい機器を選びます。

ホームオーディオ機器（サウンドバーなど）のソフトウェア更新の通知が表示された場合は、アプリ画面の案内に従って実行してください。本機の設置や接続についてもアプリ画面の案内に従って行ってください。

ヒント

- ホームオーディオ機器（サウンドバーなど）の初期設定が完了していない場合は、本機をつなぐ前にホームオーディオ機器のセットアップが案内されます。アプリ画面の案内に従って進めてください。
- ホームオーディオ機器（サウンドバーなど）の初期設定が完了している場合は、アプリ画面で本機をつなぐホームオーディオ機器を選び、[設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー接続] をタップして本機をつなぐこともできます。

関連項目

- [床や棚に設置する](#)
- [直接壁に取り付ける](#)
- [付属の壁掛け用ブラケットを使って壁に取り付ける](#)

TP1002071869

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

HT-A7000/HT-A5000/HT-A3000のいずれかのサウンドバーにつなぐ

HT-A7000/HT-A5000/HT-A3000は、“Sony | BRAVIA Connect”アプリに対応していません。テレビ画面にサウンドバーの設定画面を表示して接続の操作を行います。

サウンドバーのソフトウェアをアップデートしないと本機とつながらない場合があります。

1 本機をつなぐサウンドバーとテレビの電源を入れ、テレビの入力をサウンドバーに切り換える。

サウンドバーの起動に時間がかかります。表示窓の [HELLO] または [PLEASE WAIT] の表示が消えると操作をすることができます。

2 サウンドバーのソフトウェアを最新にアップデートする。

ソフトウェアのアップデートの方法は、サウンドバーの初期設定が完了しているかどうかによって手順が異なります。

ご注意

- サウンドバーのヘルプガイドでは、サウンドバーに別売スピーカーをつないだ状態でソフトウェアアップデートするように説明している場合がありますが、本機をサウンドバーにつなぐ前にソフトウェアをアップデートしてください。

サウンドバーの初期設定が完了している場合（すでにお使いの場合）

- サウンドバーに付属のリモコンのホームを押し、テレビ画面に表示されるホームメニューで [設定する] → [詳細設定] → [ソフトウェアアップデート] → [ネットワークアップデート] を選ぶ。
- テレビ画面に表示される画面の指示に従って、ソフトウェアをアップデートする。

サウンドバーの初期設定が完了していない場合（サウンドバーを購入した直後など）

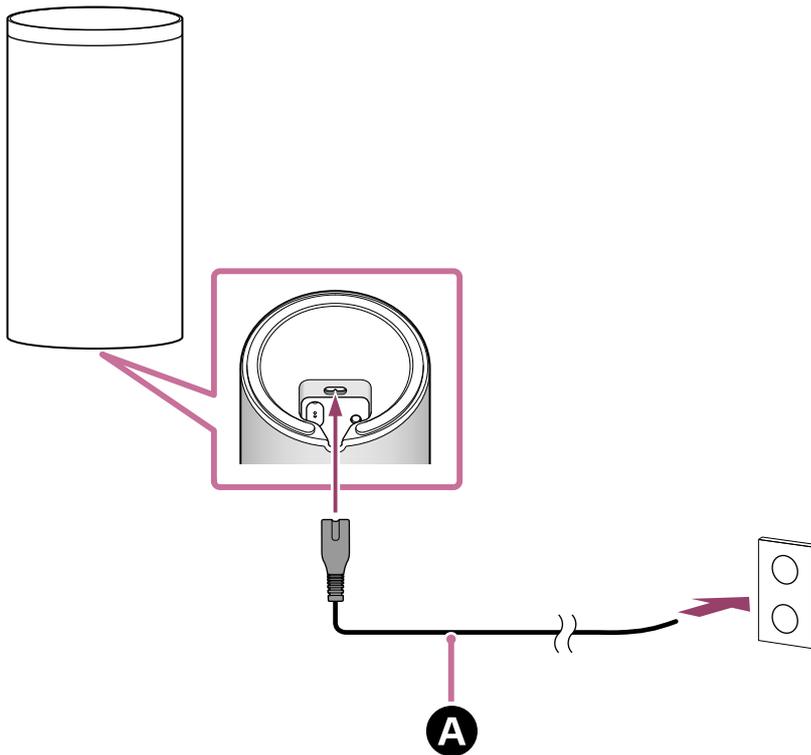
- サウンドバーに付属のリモコンのホームを押し、テレビ画面に表示される画面の指示に従って初期設定を始める。
- [ワイヤレススピーカー接続確認] 画面が表示されても、本機をサウンドバーにつなぐ前に [次へ進む] を選ぶ。
- [かんたんネットワーク設定] 画面でサウンドバーをインターネットにつなぎ、画面の指示に従って初期設定を進める。
- ソフトウェアアップデートの実行を確認する画面が表示されたら、[はい] を選び、ソフトウェアアップデートを実行する。
- [音場最適化] 画面が表示されても、実行せずに進む。
- [かんたんサウンド設定] 画面が表示された場合は [いいえ] を選ぶ。
- ホーム画面が表示されるまで、初期設定を進める。

ヒント

- 最新のソフトウェアをソニーのサポートページからUSBメモリーにダウンロードして、サウンドバーのソフトウェアを最新にアップデートすることもできます。
詳しくは、サウンドバーのヘルプガイドをご覧ください。

3 本機のAC入力端子に電源コードをつなぎ、電源コードをコンセントにつなぐ。

接続するすべてのスピーカーの電源を入れてください。
設置については、このページの最後に記載している「関連項目」をご確認ください。



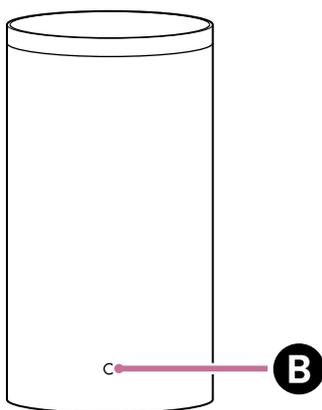
A 電源コード（付属）

4 本機の電源ランプが白色に点灯していることを確認する。

電源ランプが白色に点灯しているときは、本機とサウンドバーの接続は完了しています。

ご注意

- サウンドバーのヘルプガイドには「電源ランプが緑色」と記載されていますが、本機の電源ランプは白色です。



B 電源ランプ

サウンドバーと自動でつながらないとき／すでにつないでいるリアスピーカーと入れ替えるときは

手動で本機とサウンドバーをつなぐ必要があります。

手動でつなぐ手順については、サウンドバーのヘルプガイドの「別売スピーカーと手動でつなぐ」の説明をご覧ください。同じ操作で本機をサウンドバーにつなぐことができます。

ご注意

- すでに別売のサブウーファーをつないでいる場合は、サブウーファーも手動での再接続が必要です。

5 サウンドバーに付属のリモコンのホームを押し、ホームメニューで [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [音場最適化] を選んで音場最適化を実行する。

関連項目

- [床や棚に設置する](#)
- [直接壁に取り付ける](#)
- [付属の壁掛け用ブラケットを使って壁に取り付ける](#)

TP1002076286

5-071-535-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

リアスピーカー

BRAVIA Theatre Rear 9

STR-AN1000/STR-AZ7000ES/STR-AZ5000ES/STR-AZ3000ES/STR-AZ1000ES/TA-AN1000のいずれかのAVレシーバー/アンプにつなぐ

STR-AN1000/STR-AZ7000ES/STR-AZ5000ES/STR-AZ3000ES/STR-AZ1000ES/TA-AN1000は、“Sony | BRAVIA Connect”アプリに対応していません。テレビ画面にAVレシーバー/アンプの設定画面を表示して接続の操作を行います。

AVレシーバー/アンプのソフトウェアをアップデートしないと本機とつながらない場合があります。

1 本機をつなぐAVレシーバー/アンプとテレビの電源を入れ、テレビの入力をAVレシーバー/アンプに切り換える。

AVレシーバー/アンプの起動に時間がかかります。表示窓の [HELLO] または [PLEASE WAIT] の表示が消えると操作をすることができます。

2 AVレシーバー/アンプのソフトウェアを最新にアップデートする。

ソフトウェアのアップデートの方法は、AVレシーバー/アンプの初期設定が完了しているかどうかによって手順が異なります。

ご注意

- AVレシーバー/アンプのヘルプガイドでは、AVレシーバー/アンプに別売スピーカーをつないだ状態でソフトウェアアップデートするように説明している場合がありますが、本機をAVレシーバー/アンプにつなぐ前にソフトウェアをアップデートしてください。

AVレシーバー/アンプの初期設定が完了している場合 (すでにお使いの場合)

1. AVレシーバー/アンプに付属のリモコンのHOMEを押し、テレビ画面に表示されるホームメニューで [設定] → [ソフトウェアアップデート] → [ネットワークアップデート] を選ぶ。
2. テレビ画面に表示される画面の指示に従って、ソフトウェアをアップデートする。

AVレシーバー/アンプの初期設定が完了していない場合 (AVレシーバー/アンプを購入した直後など)

1. AVレシーバー/アンプに付属のリモコンのHOMEを押し。
2. テレビ画面に表示される指示に従って画面に表示する言語を設定した後、表示される画面で [ネットワーク設定] を選び、画面の説明に従ってAVレシーバー/アンプのインターネットへの接続が完了したら、[終了] を選ぶ。
次の設定には進まないでください。
3. AVレシーバー/アンプに付属のリモコンのHOMEを押し、テレビ画面に表示されるホームメニューで [設定] → [ソフトウェアアップデート] → [ネットワークアップデート] を選ぶ。
4. AVレシーバー/アンプの表示窓でソフトウェアのアップデートの進捗状況を確認する。
進捗率がパーセンテージ (「XXX%」) で表示されます。
アップデートが終了すると、表示窓に [COMPLETED] が表示され、AVレシーバー/アンプは自動的に再起動します。

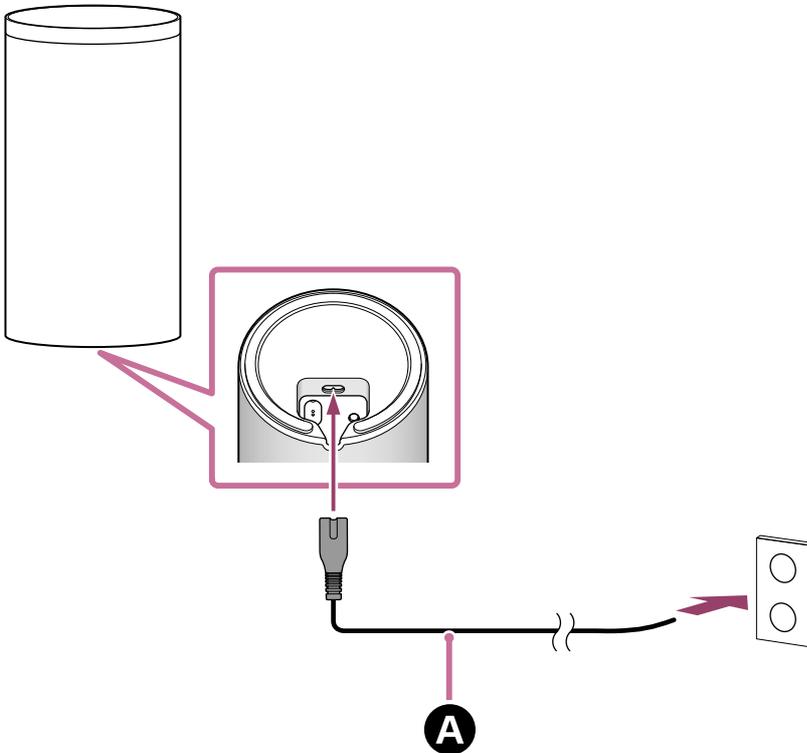
ヒント

- 最新のソフトウェアをソニーのサポートページからUSBメモリーにダウンロードして、AVレシーバー／アンプのソフトウェアを最新にアップデートすることもできます。
詳しくは、AVレシーバー／アンプのヘルプガイドをご覧ください。

3 本機のAC入力端子に電源コードをつなぎ、電源コードをコンセントにつなぐ。

接続するすべてのスピーカーの電源を入れてください。

設置については、このページの最後に記載している「関連項目」をご確認ください。



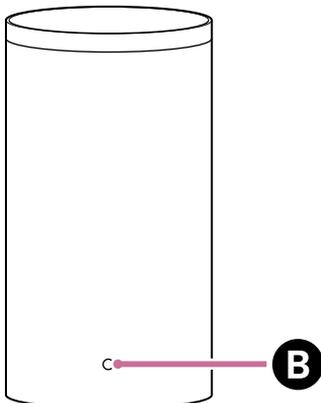
A 電源コード（付属）

4 本機の電源ランプが白色に点灯していることを確認する。

電源ランプが白色に点灯しているときは、本機とAVレシーバー／アンプの接続は完了しています。

ご注意

- AVレシーバー／アンプのヘルプガイドには「電源ランプが緑色」と記載されている場合がありますが、本機の電源ランプは白色です。



B 電源ランプ

AVレシーバー／アンプと自動でつながらないとき／すでにつないでいるリアスピーカーと入れ替えるときは

手動で本機とAVレシーバー／アンプをつなぐ必要があります。

手動でつなぐ手順については、AVレシーバー／アンプのヘルプガイドの「ソニー製ワイヤレスリアスピーカー／サブウーファーとの接続について」の説明をご覧ください。同じ操作で本機をAVレシーバー／アンプにつなぐことができます。

ご注意

- すでに別売のサブウーファーをつないでいる場合は、サブウーファーも手動での再接続が必要です。

- 5 AVレシーバー／アンプに付属のリモコンのHOMEを押し、ホームメニューで [設定] → [スピーカー設定] → [自動音場補正] を選んで音場最適化を実行する。

関連項目

- [床や棚に設置する](#)
- [直接壁に取り付ける](#)
- [付属の壁掛け用ブラケットを使って壁に取り付ける](#)

TP1002076284

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れに従ってください。

1. 本機の電源コードが奥までしっかり差し込まれていることを確認する。



2. 電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、数分後に再び電源コードを差し直す。



3. 下記のいずれかの方法で、該当するトラブルと解決方法を確認する。

- “Sony | BRAVIA Connect”アプリのメニューからヘルプを選びサポート情報を確認する。
- サポートページで本機の型名を選びサポート情報を確認する。
サポートページのURLは、「[サポートページで調べる](#)」をご覧ください。



4. 本機を初期化する。

本機のすべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



5. それでも正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。

- ソニーの相談窓口：
<https://www.sony.net/support-contact>

関連項目

- [初期化する](#)
- [サポートページで調べる](#)

TP1002071963

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

サポートページで調べる

サポートページでは、以下のような情報を調べることができます。
お住まいの国／地域のサポートページをご覧ください。

- よくある問い合わせ情報
- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 使い方相談窓口
- 修理相談窓口
- 製品登録

アメリカ合衆国、カナダ、中南米の国／地域にお住まいのお客様：

<https://www.sony.com/am/support>

ヨーロッパの国／地域にお住まいのお客様：

<https://www.sony.eu/support/>

中国大陸にお住まいのお客様：

<https://service.sony.com.cn/>

アジア、オセアニア、中東、アフリカの国／地域にお住まいのお客様：

<https://www.sony-asia.com/support>

日本にお住まいのお客様：

<https://www.sony.jp/support/>

TP1002074388

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

初期化する

「困ったときにすること」で症状が改善されない場合は、本機を初期化してください。
初期化作業は左右それぞれのリアスピーカーで行ってください。

1 電源が入った状態で本機のLINK（リンク）を、初期化開始の通知音が流れるまで10秒以上押す。

本機の電源ランプが白色／青色で交互に点滅し、初期化開始の通知音が流れると初期化が開始されます。初期化が完了すると電源ランプの点滅が終了し、電源オフの通知音が流れて本機の電源が切れます。

2 本機のLINK（リンク）を押して、本機の電源を入れる。

本機をもう一度つなぐ場合は接続手順に従って操作してください。機器によっては本機の電源が入ると、自動的につながる場合もあります。

関連項目

- [ランプの表示一覧](#)
- [“Sony | BRAVIA Connect”アプリ対応のサウンドバーなどのホームオーディオ機器につなぐ](#)
- [HT-A7000／HT-A5000／HT-A3000のいずれかのサウンドバーにつなぐ](#)
- [STR-AN1000／STR-AZ7000ES／STR-AZ5000ES／STR-AZ3000ES／STR-AZ1000ES／TA-AN1000のいずれかのAVレシーバー／アンプにつなぐ](#)

TP1002076249

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

主な仕様

リアスピーカー (YY2101C)

仕様はスピーカー1台あたりの数値を表記しています。

トップスピーカー部

80 mm (3 1/4 インチ) コーン型 (1)

スピーカー形式

アコースティックサスペンション型

フロントスピーカー部

トゥイーター

16 mm (21/32 インチ) ソフトドーム型 (1)

ウーファー

80 mm (3 1/4 インチ) コーン型 (1)

スピーカー形式

パッシブラジエーター型

無線LAN部

通信方式

IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax

BLUETOOTH部

出力

BLUETOOTH標準規格 Power Class 1.5

最大通信距離

見通し距離約30 m (98.4 フィート) *

* 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯 (2.400 0 GHz ~ 2.483 5 GHz)

ワイヤレストランスミッター/レシーバー部

通信方式

Wireless Sound Specification

変調方式

OFDM

一般

消費電力

On状態のとき : 22 W

ネットワークスタンバイ状態のとき : 1.8 W以下

電源オフ状態のとき : 0.3 W以下

[自動電源オフ] 機能が有効なとき、何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、本機は自動的にネットワークスタンバイ状態または電源オフになります。

[自動電源オフ] 機能を無効にすると、本機の消費電力が増えます。

ホームオーディオ機器と接続時は、接続されたホームオーディオ機器の自動電源オフ機能に連動して、本機の電源がコントロールされます。

最大外形寸法*（幅×高さ×奥行き）

* 最大突起部含む

スピーカー：

約154 mm × 286 mm × 154 mm（6 1/8 インチ × 11 3/8 インチ × 6 1/8 インチ）

スピーカー（壁掛け用ブラケット含む）：

約154 mm × 294 mm × 167 mm（6 1/8 インチ × 11 5/8 インチ × 6 5/8 インチ）

質量

スピーカー：

約2.7 kg（5 ポンド 16 オンス）

スピーカー（壁掛け用ブラケット含む）：

約2.9 kg（6 ポンド 7 オンス）

ご注意

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 製品に同梱されている「使用上のご注意／仕様・保証書」には上記以外の仕様情報も記載されている場合がありますのでご覧ください。

TP1002076237

5-071-535-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

商標について

- BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- “BRAVIA”（ブラビア）および “BRAVIA Link”（ブラビアリンク）は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1002071959

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<https://rd1.sony.net/help/ht/sl/26d/>
- 本製品に含まれるソフトウェアには、GPL/LGPL およびソースコードの提供を伴うその他のライセンス条件のもとでライセンスされたソフトウェアが含まれています。GPL/LGPL 等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限りさせていただきます。
<https://oss.sony.net/Products/Linux/>
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせは御遠慮ください。
- 本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

TP1002074393

リアスピーカー
BRAVIA Theatre Rear 9

ご注意

使用上のご注意

- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 長時間使用しない場合はコンセントから電源コードを抜いてください。電源コードをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードが傷んだ場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。

取り扱いについて

- 暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、ほこりの多いところ、激しい振動のあるところには本機を置かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 平らな場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、本機自体の振動により転倒・落下し、けがや故障・性能劣化の原因になることがあります。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。
- 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。
- 本機の周りにテレビ以外の金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような場合は、本機をこれらの機器から離して設置してください。
- 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発するものの近くには置かないでください。

本機のお手入れのしかた

- ファブリック（布）部分に付着したほこりや汚れは、柔らかい布などを使用し軽い力で取り除いてください。
 - 爪などを使って汚れを引っ掻いたり、過度の力を加えると、布部を傷める恐れがあります。
 - クリーニングブラシなどは材質によっては布部を傷める場合がありますので、使用しないでください。
 - 汚れがひどい場合は、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いた後に、乾いた柔らかい布で拭いてください。中性以外の洗剤やクリーナーを使用しますと、色落ちや生地傷みの原因となる場合があります。
- キャビネットは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

BLUETOOTH®通信について

- BLUETOOTH無線技術は、スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。通信有効範囲は障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって変動します。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

その他のご注意

- 使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

- もしも水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

関連項目

- [困ったときにすること](#)
- [サポートページで調べる](#)

TP1002271133

5-071-535-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation